

# 今回のおすすめメニュー

古典って、難しい！古文なんて大嫌い！  
 そんな風に思ってる人って、多いと思います。  
 だけど古典文学って、長い長い間読み継がれてきた、いわば「大ロングベストセラー」  
 ちゃんと読んでみると、意外なほど面白かったりするのです。  
 文法や古語表現など、読む気を目減りさせるハードルを取っ払って、  
 ストーリーだけ見てみると、ホラーから恋物語、SFだったりファンタジーだったり、  
 バリエティに富んでいて、奥が深い！！  
 覗いてみよう、古典文学の世界！

## ちょっと あ・じ・み

源中納言家の姫君は、義理の母にいじめられ、  
 姫君だというのにみすぼらしい恰好をしいられ、  
 いつも部屋で一人ぼっち。  
 縫物仕事ばかりをさせられています。  
 そんな姫君が、素敵な若君と出会って…

すごく美人で性格もよくて、素敵なお姫様なのに、  
 「落窪」なんてひどい名前をつけられて、  
 継母や妹たちにいじめられる…  
 これってまるで、日本版シンデレラ？



「落窪物語」  
 著者：越水利江子  
 出版社：岩崎書店  
 所蔵館：中央館・児童  
 請求記号：913 コ

## こちらもお・ス・ス・メ



「雨月物語」  
 著者：金原瑞人  
 出版社：岩崎書店  
 所蔵館：中央館・児童  
 請求記号：913 ウ

ファンタジー？



「東海道四谷怪談」  
 著者：金原瑞人  
 出版社：岩崎書店  
 所蔵館：中央館・児童  
 請求記号：912 ツ

怪談！！



「おくのほそ道」  
 著者：那須田淳  
 出版社：岩崎書店  
 所蔵館：中央館・児童  
 請求記号：915 マ

お家騒動！